

平成15年12月期

第3四半期業績の概況(連結)

平成15年11月28日

上場会社名

株式会社 ジョイフル

上場取引所

福岡証券取引所(市場)

コード番号

9942

本社所在都道府県 大分県

(URL <http://www.joyfull.co.jp/>)

代表者

役職名 代表取締役社長

氏名 穴見 陽一

問合せ先責任者

役職名 常務取締役財務経理部長

氏名 児玉 幸子

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

TEL (097)551-7131

財務諸表等の作成に際して準拠した基準(中間連結財務諸表作成基準)

・ 会計処理方法の変更の有無 : 無

・ 中間決算等と異なる会計処理の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の移動の状況 : 無

公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

1. 平成15年12月期9ヶ月間累計の業績概況(平成15年1月1日~平成15年9月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
15年12月期 第3四半期	42,261	()	4,811	()	4,949	()
14年12月期 第3四半期	()	()	()	()	()	()
14年12月期	54,045		5,091		5,589	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
15年12月期 第3四半期	2,606	()	83	36		
14年12月期 第3四半期	()	()				
14年12月期	3,162		99	72		

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率。当社は四半期業績の概況を初めて開示するため、前年同四半期の数値は記載しておりません。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
15年12月期 第3四半期	33,403	15,756	47.2	513 08
14年12月期 第3四半期				
14年12月期	35,022	16,275	46.5	513 27

(注) 当社は四半期業績の概況を初めて開示するため、前年同四半期の数値は記載しておりません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
15年12月期 第3四半期	4,555	1,027	4,011	1,152
14年12月期 第3四半期				
14年12月期	7,812	1,922	5,847	1,635

(注) 当社は四半期業績の概況を初めて開示するため、前年同四半期の数値は記載しておりません。

(参考 1) 四半期個別経営成績等の概況(単体)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
15年12月期 第3四半期	35,795	()	4,103	()	4,266	()

	四半期純利益		総資産	株主資本
	百万円	%	百万円	百万円
15年12月期 第3四半期	2,242	()	30,071	15,209

経営成績及び財政状態

1. 連結経営成績

連結経営成績の(1)事業全般の概況については、当第3四半期(2003年7月1日～2003年9月30日)の状況を中心に記載しております。

なお、当社における四半期決算の開示は、当第3四半期が初めてであり、当第1四半期の開示はいたしておりません。

(1) 事業全般の概況(第3四半期)

(単位:百万円 百万円未満切捨)

期別 科目	2003年度 当第3四半期(3ヶ月) 実績		2003年度 9ヶ月間累計実績		2003年度 9ヶ月間累計会社計画	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	15,391	100.0	42,261	100.0	42,863	100.0
売上総利益	10,033	65.2	27,991	66.2	28,618	66.8
販売費及び一般 管理費	8,098	52.6	23,180	54.8	23,777	55.5
営業利益	1,934	12.6	4,811	11.4	4,840	11.3
経常利益	1,987	12.9	4,949	11.7	4,955	11.6

当第3四半期(2003年7月1日から同年9月30日)におけるわが国経済は、日経平均株価が10,000円台を回復するなど、一部には景気回復の期待も見られましたが、雇用情勢や所得水準などの個人消費を取り巻く環境は依然として厳しい環境が続いております。

その中で、外食産業においても、輸入冷蔵牛肉に対するセーフガードの発令、カナダにおけるBSE(牛海綿状脳症)発生、オーストラリアにおけるかんばつ発生などの影響による、国内輸入牛肉相場の上昇がありました。更に、6月はじめに起こった中国産鶏肉輸入禁止措置などにより、輸入鶏肉相場も上昇いたしました。

そのような環境の中でも、外食産業に対し、できるだけ高品質の商品を、できる限り低価格での提供を望まれるお客様の声はますます高くなっております。

このような状況の中で当社グループでは、当四半期中に下記の施策を行い、業績改善に努めました。

販売戦略

販売活動に関しては、下記の施策を実施いたしました。

7月18日より「サマードリンクフェア」を実施し、リピーター客向けにドリンクバー50円と業界有数の低価格での提供を行いました。

9月1日より10月9日まで重点商品販売施策「社長の一押し」として、チーズハンバーグ・キャ

ンペーンを実施し、弊社の主力商品チーズハンバーグについて、ライス付きで 399 円と「お値打ち価格」にて提供いたしました。

出店戦略

出店に関しては、ジョイフル単体で直営店 4 店舗、グループ子会社で同じく 3 店舗の合計直営 7 店舗を出店いたしました。内訳は、ジョイフルが広島県 2 店、兵庫県 1 店、岡山県 1 店、中部ジョイフルが静岡県 1 店、岐阜県 1 店、近畿ジョイフルが和歌山県 1 店、となっております。

この結果、当第 3 四半期末店舗数は、ジョイフルグループ直営 564 店、FC29 店の合計 593 店となりました。

組織戦略

社長直轄型へと組織を再構築し、トップの意思がスピーディーに全社に伝わるフラット型組織へと転換いたしました。また、7 月に広報室を新設し、IRを含めた社外と社内の双方での積極的な広報活動を開始いたしました。

これらの施策を行った結果、当四半期の連結業績としては、売上高 153 億 9 千 1 百万円、経常利益 19 億 8 千 7 百万円となり、平成 15 年 1 月から 9 月までの 9 ヶ月間累計での連結業績は、売上高 422 億 6 千 1 百万円、経常利益は 49 億 4 千 9 百万円となりました。

ちなみに、当四半期の連結売上高は計画を 7 億ほど下回っており、同経常利益も計画を 1 億ほど下回りました。当期の業況をまとめますと、

7 月からのドリンクバー・キャンペーンや、9 月からの重点販売「399 円チーズハンバーグ」キャンペーンなどの販売促進を通じ、来客数増への取り組み強化策を図った結果、既存店の来客数の伸びは前年比 100%を確保できるようになりました。

反面、「チーズハンバーグ」が当初予想の 3 倍の出数になったことにより、客単価が予想以上に下落し、客数の伸びで価格低下をカバーできなかったこと、お客様の注文が「チーズハンバーグ」に誘導されすぎた結果、粗利率の高い商品の売上が悪影響を受け、セールス・ミックスの変化により原価率が悪化しました。

販売管理費の抑制に努めましたが、売上の未達、原価率悪化をカバーするには至りませんでした。

以上が売上・利益で計画を下回った主な要因であります。

(2) 財政状態の概況(第 3 四半期末)

第 3 四半期末の財政状態といたしましては、有利子負債の返済による財務体質の強化に努めた結果、前連結会計年度末(平成 14 年 12 月期末)と比べ、現金及び預金で 473 百万円減少し、総資産は 33,403 百万円(対前期末比 1,619 百万円の減少)となりました。

また、期初から当第 3 四半期末までの 9 ヶ月間のキャッシュ・フローの状況は次の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当期における営業活動による現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、45 億 5 千 5 百

万円の増加となりました。その主なものは、税金等調整前四半期純利益 48 億 3 千万円、減価償却費 20 億 2 千 1 百万円による資金の増加額と、法人税等の支払額 25 億 4 千 7 百万円による資金の減少額であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当期における投資活動による資金は、10 億 2 千 7 百万円の減少となりました。

その主なものは、新規出店に伴う、有形・無形固定資産取得による支出 9 億 4 千 1 百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当期における財務活動による資金は、40 億 1 千 1 百万円の減少となりました。

その主なものは自己株式の取得支出 14 億円と、親会社による配当金の支払額 17 億 1 千 9 百万円であります。有利子負債の軽減を行い、財務体質の強化を図った結果、借入金によるキャッシュ・フローは 8 億 8 千 7 百万円減少し、借入金残高は 107 億 2 千 3 百万円となっております。

以上の営業活動、投資活動、財務活動の結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の期末残高は 11 億 5 千 2 百万円となり、期首残高に対し 4 億 8 千 2 百万円減少しております。

2 . 通期の見通し

現時点において、平成 15 年 8 月 22 日の決算発表時に公表いたしました、平成 15 年 12 月期(通期)の業績予想(連結・個別)の修正はありません。

四半期連結貸借対照表（資産の部）

科目	期 別	第3四半期 (平成15年9月30日現在)		前連結会計年度 (平成14年12月31日現在)	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(資産の部)		千円	%	千円	%
流動資産		(2,509,741)	7.5	(3,100,029)	8.9
現金及び預金		1,177,356		1,650,731	
売掛金		91,782		87,469	
たな卸資産		791,190		1,028,976	
前払費用		140,717		60,515	
繰延税金資産		233,327		180,055	
その他		75,506		93,152	
貸倒引当金		139		872	
固定資産		(30,893,274)	92.5	(31,922,184)	91.1
有形固定資産		(26,823,954)	80.3	(27,892,770)	79.6
建物及び構築物		15,621,454		16,354,181	
機械装置及び運搬具		377,106		452,179	
工具器具及び備品		2,323,951		2,767,009	
土地		8,319,200		8,319,200	
建設仮勘定		182,241		200	
無形固定資産		(149,781)	0.5	(146,650)	0.4
ソフトウェア		16,750		19,582	
その他		133,030		127,067	
投資その他の資産		(3,919,538)	11.7	(3,882,764)	11.1
投資有価証券		27,137		26,003	
長期貸付金		721,598		736,923	
長期前払費用		81,532		75,645	
繰延税金資産		135,342		176,145	
差入敷金保証金		2,953,724		2,867,843	
その他		203		203	
資産合計		33,403,015	100.0	35,022,214	100.0

四半期連結貸借対照表（負債・資本の部）

科目	期 別		前連結会計年度	
	第3四半期 (平成15年9月30日現在)		(平成14年12月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(負債の部)	千円	%	千円	%
流動負債	(15,497,897)	46.4	(15,915,884)	45.4
買掛金	1,734,788		1,679,066	
短期借入金	9,419,592		9,777,265	
未払金	497,648		492,260	
未払費用	1,665,488		1,568,129	
未払法人税等	1,038,252		1,396,794	
前受収益	155,868		156,098	
賞与引当金	351,612		84,650	
その他	634,647		761,621	
固定負債	(2,041,636)	6.1	(2,759,327)	7.9
長期借入金	1,303,820		1,833,610	
役員退職慰労引当金	43,012		209,310	
退職給付引当金	268,960		174,904	
その他	425,843		541,503	
負債合計	17,539,533	52.5	18,675,212	53.3
(少数株主持分)	(107,045)	0.3	(71,254)	0.2
少数株主持分	107,045		71,254	
(資本の部)				
資本金	()		(1,596,595)	4.6
資本準備金	()		(2,067,699)	5.9
連結剰余金	()		(12,936,125)	36.9
その他有価証券評価差額金	()		(1,193)	0.0
自己株式	()		(323,479)	0.9
資本合計			16,275,747	46.5
資本金	(1,596,595)	4.8	()	
資本剰余金	(2,067,699)	6.2	()	
利益剰余金	(13,816,672)	41.4	()	
その他有価証券評価差額金	(532)	0.0	()	
自己株式	(1,723,997)	5.2	()	
資本合計	15,756,436	47.2		
負債、少数株主持分 及び資本合計	33,403,015	100.0	35,022,214	100.0

四半期連結損益計算書

科目	期 別	第3四半期		前連結会計期間	
		(自平成15年1月1日 至平成15年9月30日)		(自平成14年1月1日 至平成14年12月31日)	
		千円	%	千円	%
売上高		42,261,302	100.0	54,045,695	100.0
売上原価		14,269,907	33.8	17,997,312	33.3
売上総利益		27,991,394	66.2	36,048,382	66.7
販売費及び一般管理費		23,180,302	54.8	30,956,538	57.3
営業利益		4,811,091	11.4	5,091,844	9.4
営業外収益		222,499	0.5	685,429	1.3
受取手数料		25,387		32,650	
不動産賃貸収入		31,889		45,933	
受取協賛金		118,628		538,077	
その他		46,594		68,767	
営業外費用		84,403	0.2	187,356	0.3
支払利息		70,594		167,120	
その他		13,808		20,235	
経常利益		4,949,187	11.7	5,589,917	10.4
特別利益		732	0.0	13,458	0.0
固定資産売却益				15	
関係会社株式売却益				3,380	
貸倒引当金戻入益		732			
税務更正受入				10,061	
特別損失		119,059	0.3	63,082	0.1
固定資産売却損		175		4,296	
固定資産除却損		18,238		8,986	
退職給付費用		65,735			
借地権償却		2,666		49,800	
役員退職慰労金		32,244			
税金等調整前四半期(当期)純利益		4,830,860	11.4	5,540,293	10.3
法人税、住民税及び事業税		2,200,276	5.2	2,377,271	4.4
法人税等調整額		15,304	0.1	39,296	0.1
少数株主利益		39,791	0.1	39,633	0.1
四半期(当期)純利益		2,606,096	6.2	3,162,686	5.9

四半期要約連結キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

期 別	第3四半期 〔自平成15年1月1日〕 〔至平成15年9月30日〕	前連結会計期間 〔自平成14年1月1日〕 〔至平成14年12月31日〕
0		
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整第3四半期(当期)純利益	4,830,860	5,540,293
減価償却費	2,021,002	3,083,475
その他	319,713	1,045,549
小 計	7,171,576	9,669,318
利息及び配当金の受取額	2,890	5,742
利息の支払額	70,919	166,673
法人税等の支払額	2,547,937	1,695,729
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,555,610	7,812,658
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形・無形固定資産取得による支出	941,565	3,428,262
その他	85,888	1,505,392
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,027,454	1,922,869
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得支出	1,400,518	66,520
短期借入金の純増減	29,400	2,863,400
長期借入金の借入収入	258,000	2,017,000
長期借入金の返済支出	1,116,063	3,664,471
親会社による配当金の支払額	1,719,050	1,269,462
少数株主への配当金の支払額	4,000	800
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,011,031	5,847,653
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増加額	482,875	42,135
現金及び現金同等物の期首残高	1,635,535	1,593,399
現金及び現金同等物の第3四半期末(期末)残高	1,152,659	1,635,535